

こんにちは



議会です!

きたもと議会だより

北本まつり

毎年11月の第1土曜日に西中央通りで「宵まつり」、その翌日に北本中学校で「産業まつり」が開催されます。

北本の行事シリーズ



この写真は、昨年の北本まつりの様子です。

主な内容

- 9月定例会…
- 一般質問…
- 委員長報告…
- 提出案件の結果等…

会期日程

- 8月30日(月)本会議(開会)
- 8月31日(火)議案調査日
- 9月1日(水)議案調査日
- 9月2日(木)議案調査日
- 9月6日(月)本会議(総括質疑)
- 9月7日(火)本会議(委員会付託)
- 9月8日(水)委員会(総務文教・建設経済)
- 9月9日(木)委員会(保健福祉)
- 9月10日(金)委員会(総務文教・建設経済)
- 9月13日(月)委員会(総務文教・保健福祉)
- 9月15日(水)本会議(一般質問)
- 9月16日(木)本会議(一般質問)
- 9月17日(金)本会議(一般質問)
- 9月21日(火)本会議(一般質問)
- 委員会(総務文教)
- 9月24日(金)本会議(閉会)

No 74

平成22年(2010)11月1日発行
 編集 議会だより編集委員会
 発行 北本市議会
 北本市本町1-111
 TEL 048-591-1111
 FAX 048-591-6335
www.city.kitamoto.saitama.jp/

9月定例会

平成22年度 一般会計 特別会計 歳入歳出決算を認定

8月30日から9月24日までの26日間の会期で開かれた定例会では、市長提出議案30件、議員提出議案2件、委員会提出議案1件、請願1件を慎重に審議しました。

特に、北本市税条例の一部改正においては、平成23年度分の個人の市民税について一律10%の減税を行うものですが、記名投票の結果（下記参照）、原案のとおり可決しました。

その他の議案の審議結果は、8ページをご覧ください。

今定例会で審議された市長提出議案のうち、質疑がなされた議案について、その主なものを掲載します。

議案第55号 平成21年度北本市一般会計歳入歳出決算の認定について

総括質疑通告者

吉住武雄（緑風政策）
島野和夫（公明党）
湯澤清訓（共産党）
福島忠夫（平成会）

通告順に掲載

Q、8億2,800万円の決算剰余金が生じた要因について

A、事業費に係る繰越額の影響で、歳入歳出とも予算現額と比較すると不用額が大きくなりますが、歳入については、予算現額に対して、税収や交付金などの落ち込みが少なく、結果として収入増となりました。一方、歳出については、総務費、民生費、衛生費において、比較的大きな不用額となりました。これらの影響によって、平成22年度の決算剰余金8億2,800万円が生じました。

果としてあらわれたものと考えています。

平成21年度は、事務事業の見直しをはじめ、財政の健全化、市民と行政との協働の推進、人材育成と職員の意識改革の推進、職員の定員管理及び報酬、給与等の見直し、組織機構の見直し、情報化の推進、そして公共施設の設置及び効率的な管理運営の推進等、8つの視点から37項目の行政改革に取り組み、その成果は2億392万9,000円でした。

今後市民サービスの向上に向けて行政改革に取り組んでいきたいと考えています。

決算剰余金が生じた主要な因としては、行政改革によるもののほか、一般競争入札の導入などの制度改正を行い、経費の節減に努めたことが成

記名投票の結果

「議案第63号」北本市税条例の一部改正について

「賛成者」10名

串田英夫、桂 祐司、
島野和夫、岸 昭二、
福島忠夫、黒澤健一、
阪井栄見子、横山 功、
伊藤堅治、大澤芳秋

「反対者」8名

中村洋子、湯澤清訓、
現王園孝昭、工藤日出夫、
金子真理子、吉住武雄、
三宮幸雄、高橋節子

「議案第74号」平成22年度北本市一般会計補正予算（第4号）に対する修正案

「賛成者」9名

中村洋子、湯澤清訓、
現王園孝昭、工藤日出夫、
金子真理子、吉住武雄、
三宮幸雄、高橋節子、
大澤芳秋

「反対者」9名

串田英夫、桂 祐司、
島野和夫、岸 昭二、
福島忠夫、黒澤健一、
阪井栄見子、横山 功、
伊藤堅治

本修正案は議長裁決によって否決となり、原案可決となりました。

【紹介】

今定例会において同意されました方々を紹介いたします。

人権擁護委員

住所 荒井1丁目211番地

氏名 新井 勇氏

住所 本宿6丁目203番地

氏名 小川 静枝氏

教育委員会委員

住所 東間8丁目179番地

氏名 大保木 道子氏

住所 石戸5丁目263番地1

氏名 岡村 和也氏

議員表彰

長年、市議会議員として、市政の発展に尽力されたことにより、全国市議会議長会・埼玉県市議会議長会から次の議員が表彰を受けました。

桂 祐司議員（15年）

黒澤健一議員（15年）

阪井栄見子議員（15年）

市政に対する一般質問

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずねるもので、定例会に限って行われます。

質問を希望する議員は、あらかじめ質問事項を

通告し、執行部の答弁を求めます。

今定例会では、18人の議員から81件132項目について質問がありました。

その中から主なものの答弁を掲載しました。

市民税減税

問1 市民税減税に至った経緯について

答1 これまで市民の理解と協力をいただき進めてきた行政改革などの成果として、平成21年度の決算剰余金は約8億円となりました。

この一部を減税基金に積み立て、平成23年度分の個人市民税について一律10%の減税を行うものです。

債が許可制となり、来年度の起債に影響が出る可能性があること、特別交付税が財政状況等を勘案して決められるものであることから、交付額に影響する可能性がある」と意見をいただきました。また、行政改革の努力であることの説明が必要であること、地方税制度への影響が懸念されることが指摘されました。

問2 国・県の行政指導について

答2 市民税を減税した場合に、地方財政などにどのような影響があるのか県に確認したところ、減税は法的には可能であるが、減税した場合に標準税率を下回る税率となることから地方

入札制度

問 地元業者の入札機会確保について

答 随意契約や指名競争入札では、基本的に地元業者を中心とした工事発注に努めています。また一般競争入札では地

域条件を市内または近隣地域に限定したり、経営事項審査による評価を地元業者の経営規模を勘案して設定するなど、積極的に地元業者の活用を図っており、平成21年度の土木、建築工事等の入札状況では、発注件数の約75%が地元業者の受注となっています。

り、地元業者の中にはこれらを満たしていない場合も見受けられます。一方、工事価格や工事種別によっては、適正な競争性を確保するため、近隣自治体の業者を含めるなどの対応を図る場合もあります。

域条件を市内外または近隣地域に限定したり、経営事項審査による評価を地元業者の経営規模を勘案して設定するなど、積極的に地元業者の活用を図っており、平成21年度の土木、建築工事等の入札状況では、発注件数の約75%が地元業者の受注となっています。

このような状況から、地元業者の受注機会を増やすためにも、地元業者の育成と技術力の向上に向けた支援が必要と考えています。

9月定例会 一般質問

質問通告順に掲載

吉住武雄（緑風政策）

・学校耐震補強が近隣市より遅れているのはなぜか
・新駅に対する、今後のスケジュールは
平成22年度地方交付税が確定したが事業への反映は

他2件

大澤芳秋（緑風政策）

・市民税減税
・市道における自転車の歩道走行について、どのように規制しているのか
・市内の由緒ある坂に名称をつけてはどうか

他1件

桂 祐司（みんなの会）

・子ども図書館実現に向けての取組み
・新駅事業実現に向けての取組み
・市民と進める新庁舎建設

他1件

伊藤堅治（平成会）

・高齢者福祉の対策
・観光行政の推進
・本市の産業振興

他2件

中学校給食

問1 自校方式の実施について

答1 中学生は思春期にあつて発育発達が著しく、給食室で地元産の野菜等が食材として使われる状況を目にしたり、おいしいにおい

から調理の様子を実感でき、料理の温かさそのまま食べられることは、豊かな心と健やかな体を育む上で極めて有意義です。生涯にわたつて豊かな食生活をおくる上での基礎固めの時期ととらえ、自校方式を実施していきたいと考えています。

単独の給食施設を併設することは防災上の観点から非常に意義あるものと考えています。

これまでも外に出かけられなかった方などが気軽に外出できるようになったというご意見や、行きたい時間にほぼ正確に目的地に着けるなどの点について大変評価をいただいています。

問 デマンドバス運行の現状と課題は

答 テスト運行や実証運行をとおして、デマンドバスは、大変好評です。特に、自宅までデマンドバスが迎えに来てくれることにより、

問2 アルマイト食器の入れ替えについて

答2 議会でも取り上げられ、生徒や保護者の要望も多く喫緊の課題と考えています。また、小学校の強化磁器食器に慣れた子どもたちが中学校に入学して戸惑いを感じていることも事実です。自校方式に移行した場合には、きれいで安全で使いやすい食器の導入を検討したいと考えています。

ため、当日1時間前までの予約を可能としました。しかし、利用者が増えたことにより当日予約の成立割合が減っています。

これら原因として、乗り合い率が低く、1台に1組から2組のお客様を乗せて走っている時間が多いことや、運行車両が2台では不足しているという点が考えられます。

これらの課題解決として、

問3 地産地消の推進について

答3 自校方式になると各学校で食材発注を行うため、北本産野菜をより多く購入しやすくなり、果物を季節に合わせて提供したり北本産トマトもデザート感覚で使用できると考えています。

炊飯施設を併設すれば北本産のお米も食べられ農業振興、産業振興にも寄与できると考えています。

乗り合い率の低さを解消するため、10月中旬より新しいシステムを利用した予約受けを行うこととなっています。また、10月よりタクシー車両を1台増車して実証運行が行えるよう準備を進めています。



中村洋子(共産党)

- ・保育所と学童保育室の保育時間の差
- ・市民税の減税の意味するものは何か
- ・ハイワールドが開発された後の生活道路の改善

他6件

高橋節子(緑風政策)

- ・行財政改革
- ・地球温暖化防止対策への訪問歯科診療

他2件

工藤日出夫(緑風政策)

- ・平成22年度事業の、いわゆる「北本らしい駅の顔プロ」への委託事業
- ・あすなる学園の指定管理者制度への移行後の状況

他1件

現王園孝昭(緑風政策)

- ・北本駅西口駅前広場改修と「まちづくり」
- ・平成21年度決算と今後の財政状況

他1件

串田英夫(みんなの会)

- ・「埼玉にコウノトリ、トキ」という夢を現実に未来の子どもたちへプレゼント
- ・市内建設業の健全な育成
- ・幼児の虐待

他2件

デマンドバス

所在不明の高齢者

問1 100歳以上の所在不明の高齢者について

答1 9月1日現在、住民登録をしている100歳以上の方は9人で最高齢者は105歳です。この方々の所在は福祉課と高齢介護課

合同で調査を行い、所在を確認しています。
問2 100歳以下の方々の所在確認について

答2 4月1日現在における65歳以上の高齢者数は、1万4881人です。65歳以上のひとり暮らしの人、双方が75歳以上の2人暮らしの人、その他支援が必要な65歳以上の人を対象に、民生委員に依頼し訪問調査による見守りや支援の必要

性等について把握を行う高齢者支援票の作成をおこなっており、所在確認ができています。
75歳以上の方は後期高齢者医療制度の受診履歴、介護保険利用等で所在確認をしましたが、77の方が確認できなかったため民生委員の協力をいただきながら所在確認をしていきます。

問3 民生委員に対する調査活動支援について

コンピュータールーム

問 文化センターIoT講習室の活用は

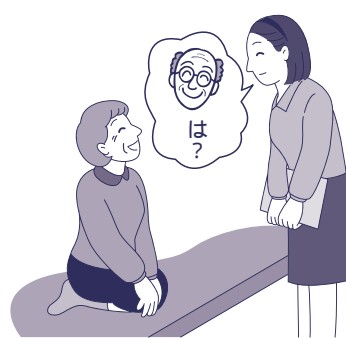
答 現代社会は、あらゆる面で急速なIT化が進んでいます。これに対し、文化センターでは平成12年度にIoT講習室を整備し、県内

の自治体としては事例の少ないパソコン講座専用の施設として、市民の方々によって活用が図られてきました。

しかしながら、整備から10年目を迎えた今、設置されたパソコンはかなりの旧式となり、OSは現在のウィンドウズ7から数えて3世代前のものとなってしまいました。利用者からは動作環境が不十分とのご指

摘をいただいております。講座のカリキュラムや活用が制限されるなどの問題が生じています。

このため、IT機器の進化が目覚ましい昨今、これらのパソコンについては、早期に更新していく必要がありますと認識しています。
なお新機器の導入に際しては、リース方式を採用し、IoT講習室として望ましい環境を継続的に維持できる



答3 情報の提供については個人情報保護条例や法律との関係がありますが、法令遵守をする中でなるべく提供し少しでも活動しやすいよう支援をしていきます。

よう配慮します。また、導入後は新たに講座の企画や講師を募り、ニーズに合った魅力的な事業が展開できるよう努めていきます。



文化センターコンピュータールーム

- ・ 福島忠夫（平成会）
 - ・ 小・中学校のグラウンドを芝生にした場合の効果
 - ・ ひとり暮らしでも安心できる安全網
 - ・ あすなる学園の検証
- 他1件

- ・ 三宮幸雄（緑風政策）
 - ・ 北本駅西口駅前広場改修工事
 - ・ 個人市民税の一律10%減税
 - ・ 学校選択制
- 他1件

- ・ 金子真理子（緑風政策）
 - ・ 保育所計画
 - ・ 北本駅西口駅前広場改修計画
 - ・ デマンドバス運行
- 他1件

- ・ 横山 功（平成会）
 - ・ 新駅の早期実現に向けて
 - ・ 下原考戸のまちづくり
 - ・ 防災行政無線の難聴地域解消
- 他3件

- ・ 岸 昭二（公明党）
- ・ 西口駅前広場改修
- ・ 北本市中学校選択制
- ・ 学校給食の改善

- ・ 湯澤清訓（共産党）
- ・ 中学校給食の自校方式のすすめ

- ・ あすなる学園
 - ・ 北本駅西口駅前広場改修計画の検討状況
- 他1件

北本まつり 宵まつり

今年で17回目を迎える北本まつりですが、その起源は地域コミュニティが昭和58年にコミュニティまつりとして、駅西口をパレードしたことが始まりです。その後、実行委員会により

「北本まつり」を開催する方式が定着し、北本市における最大の祭りとして現在に至っています。

この北本まつりの最大の見どころは、勇壮なねぶたの運行にあります。このねぶたが宵まつりに登場してくるのは、平成7年のまつりからです。当時の実行委員会のご尽力により、青森県弘前市の錦絵師により範頼ねぶた2基が制作され披

露したのが始まりです。その後、8圏域のコミュニティ委員会も扇ねぶた、人形ねぶたを保有するまでとなり、また、これまで、弘前市の観光協会の支援も受けて、絵師の派遣や囃子の御指導も頂いて、祭りが年々充実してきました。

市では、このねぶたを中心とした北本まつりが回を重ねるごとに、ふるさとのまつりとして歴史を作り上



宵まつりで練り歩く勇壮な扇ねぶた

げていくよう、市民の皆様と協力しながら支援していきたいと考えています。

駅西口広場

問1 現在より使い勝手、安心・安全、朝晩の混雑解消が間違いなく改善されるのか、その裏付けについて

答1 改修により、安全性が向上し、車の流れもスムーズになると考えています。

広場内の段差は、平らな歩道となりますので、高齢者や車いすやベビーカーなどの利用者が安心して利用できます。駅舎前の降車場、横断歩道の廃止で、交通はスムーズになると考えています。

問2 改修工事に残されている課題について

答2 わかりやすい標示や誘導の方法、歩きやすく管理しやすい歩道の構造な

ども課題となっています。

問3 夕方の混雑・渋滞の緩和について我慢しましようというキャンペーンが必要と思うが

答3 広場の混雑と道路の長さとの面積は重要な関係で、西中央通線に70mほどの停車帯を警察と協議をして設けることができました。

問4 さらに使いやすい北本駅西口広場の改修に努力したのか

答4 西口駅前広場の改修は、だれもが安心して快適に利用できるバリアフリーの交通広場、にぎわいづくりの空間としての多目的広場、北本市の象徴である緑を生かした景観を持った駅前広場となり、北本市の顔になるものと考えています。



傍聴のご案内

議会では、皆さんの生活に密着した重要な問題を審議しています。

身近な市政を知るためにも、議会を傍聴してみませんか。

他1件

- ・島野和夫(公明党)
- ・北本市小規模工事等契約希望者登録制度
- ・圏央道の進捗状況と新駅の信号に「北本団地入口」の標識の設置
- ・阪井栄見子(公明党)
- ・高齢者所在不明問題から高齢者への行政サービス
- ・子どもを取り巻く環境
- ・「子どもの権利条約」に基づく子どもの権利条例の制定
- ・黒澤健一(平成会)
- ・市の指定管理者制度に関する市長見解を質す
- ・「交通弱者」の政策に対する市長見解、どう進めていくのか
- ・駅西口広場の改修について、市長の見解を質す

11月30日(火)

開会の予定です。

次回の定例会は、

総務文教

Q. 中学校給食の自校方式を、西中学校から導入する理由について

A. 導入順序を検討する中で、給食センターから一番遠い西中学校を提案しました。給食センターでは10時に調理を開始し、11時に出来上がるため、西中学校の生徒が食べ始めるまでに1時間30分あるため、90度のものが10度ほど下がります。そのため、時間がたってもおいしく食べられるよう調理方法を工夫しています。

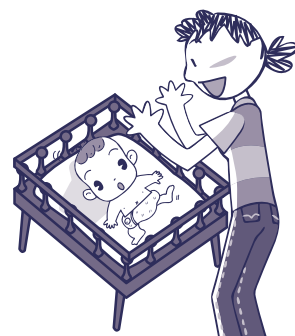
一方、自校方式の小学校では11時に調理を開始し、11時45分に出来上がるため、40分で食べ始めることが出来ます。これらと比較しますと、アルマイト食器の問題とともに、早急に対応したいということで、今回は中学校4校分の基本計画と、西中学校の給食室新築工事の設計を提案しました。



保健福祉

Q. 補正予算児童福祉費補助金320万円、赤ちゃんの駅設置事業補助金について

A. 赤ちゃんの駅設置事業は、子育て中の親子が気軽におむつがえやトイレ等を利用できる赤ちゃんの駅を県内4,000か所の公共施設等に設置する事業で、県がその10割を負担し推進しています。市では、この補助金を活用し、市役所、公民館等を含む概ね29か所の公共施設に、ベッド、おむつがえのシートなどを備えた赤ちゃんの駅を設置し、赤ちゃんの駅を表示するシールを貼付します。



Q. 母子保健業務経費に関して、妊婦健康診査拡充の効果について

A. 妊婦一般健康診査は、県内全ての出産を取り扱っている医療機関、また、一部の医療機関においては県外でも受診券を使って受診できる体制をとっています。妊婦により必要な検査項目が異なるため全部が14回受診するというものではありませんが、実人員として483人の受診券利用がありました。公費負担回数を5回から14回に拡大したたことにより、妊婦の健康管理はより細かくできることになったと考えます。



建設経済

Q. 駅西口の改修工事について、国も地方も逼迫した財政の中でそれほどのお金をかける必要があるのか

A. 今回施行を予定しているシェルター工事の事業費は2億4,700万円です。平成18年度予定額より高くなっていますが、屋根を駅西口広場の形にあつらえて整備することによるものです。北本市の顔としての特徴が出せる形で整備していきます。

特別委員会の報告

庁舎建設特別委員会

「北本市新庁舎建設基本設計に関し市民と協働する協議会の設置等を求める決議」を、委員会提出議案として上程することになりました。その結果、本会議で可決されました。

議会改革特別委員会

審議されていた議会基本条例が撤回され、委員会の中で新たに議会基本条例が提出されましたので、今後、慎重に審査を進めていくことになりました。

主な提出案件の結果一覧

議案名	議決結果	緑風政策フォーラム	平成会	公明党	共産党	みんなの会
平成 21 年度北本市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定				×	
平成 21 年度北本市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定					
平成 21 年度北本市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	認定					
平成 21 年度北本都市計画事業久保特定土地地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定				×	
平成 21 年度北本市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定					
平成 21 年度北本市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定					
平成 21 年度北本市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定					
北本市税条例の一部改正について	可決				×	
北本市減税基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定について	可決				×	
北本市住民基本台帳カードの利用に関する条例の制定について	可決					
北本市ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部改正について	可決					
北本市障害児学童保育室設置及び管理条例の一部改正について	可決					
北本市都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例の一部改正について	修正可決	×			×	
北本市教育委員会の委員の定数を定める条例の制定について	可決					
平成 22 年度北本市一般会計補正予算（第 3 号）	可決					
平成 22 年度北本市一般会計補正予算（第 4 号）	可決	×			×	
平成 22 年度北本市老人保健特別会計補正予算（第 1 号）	可決					
平成 22 年度北本都市計画事業久保特定土地地区画整理事業特別会計補正予算（第 1 号）	可決					
平成 22 年度北本市公共下水道事業特別会計補正予算（第 1 号）	可決					
平成 22 年度北本市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）	可決					
平成 22 年度北本市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）	可決					
議員委員会提出議案						
「非核三原則」の法制化を求める意見書	可決					
水辺プラザ整備事業の早期完成等を求める意見書	可決					
北本市新庁舎建設基本設計に関し市民と協働する協議会の設置等を求める決議	可決					
請願						
「非核三原則」の法制化について国への意見書提出を求める請願	採択					

* 上記以外に 9 件の議案審議がありましたが、いずれも起立及び挙手全員により原案のとおり認定・可決・同意しています。



は議案に対して賛成の会派
 ×は議案に対して反対の会派
 は議案に対して賛成と反対のあった会派

各会派の議員数 緑風政策フォーラム【7人】、平成会【5人】、公明党【3人】、共産党【2人】、みんなの会【2人】

委員	副委員長	委員	委員	議会だより編集委員
中村洋子	岸昭二	桂祐司	黒澤健一	
金子眞理子				

編集後記

お金の使い方には、個性がある。個人のお金は自己責任で済むが、公金となるとそうはいかない。市長提案を、議会が決定し、市民説明を終えて大多数が納得し、円満な自治運営がなされて、お金の使い方が、明らかかなほど、皆が納得できる。

しかし、あいまいな使途は、疑問を招き、不信感がつる。会計の開示とあわせ、説明責任が問われる。議員の立場は、さらに厳しい視線を浴びる、市民の信託を受けて行政のチェック機関としても仕事しているのを見られる。市民は、市政に無関心ではいられない。自分の納めた税金なのだから。

(洋)